

決算特別委員会

談合問題などに活発な議論

決算特別委員会は、9月13日から15日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。委員長には、生駒利治委員を選出。3日間にわたり一般会計や国民健康保険特別会計など10会計の平成21年度決算を審議しました。ここではその審議の概要をお伝えします。

質疑 総括

土木A級7業者の 指名停止の根拠は

問 談合事件による7業者の指名停止の根拠は。また、

裁判において無罪となった場合はどうするのか。

副町長 町営建設工事に係る指名停止措置要項で、業者が談合の容疑で逮捕された時は12カ月の指名停止と規定されている。

建設課 不起訴または無罪となった時点で指名停止は解除となる。

課徴金の入金 どこの科目に

問 裁判の結果で有罪となった場合、請負額の10%の課徴金を請求しなければならぬが、どのように処理するのか。

副町長 会計年度独立の原則があるので、過年度会計へ繰り入れることはできな

い。刑が確定した時点で課徴金の請求ができるので、その年度の雑入として処理する。

落札率100% 疑わなかったか

問 本会議で土木A級業者の落札に疑わしい節があると述べた根拠は。また、土木B級業者の入札で落札率100%が3件もあったのに談合を疑わなかったか。

町長 結果を見れば7社が年間1件ずつ落札していた点に作為があると受け取ることのできるという意味である。また、請負率は報告されるが、落札率は報告されないため、100%の落札があったことはわからない。

かった。6月議会の答弁書の検討時点で初めて知った。

宮古市業者の入札参加 審査委員会の整合性は

問 新桃山橋の入札では、土木A級業者の指名停止により、土木特A級業者2社しか参加資格がなかったため、宮古市の県土木A級業者4社を参加させたが、格付審査委員会における整合性は。

副町長 町内のみでは指名業者数が少なかったため、緊急避難的な措置で参加させた。

入札に参加した宮古市の業者は、町に法人税を納めているなどの格付審査条件は満たしていない。

①②③

「落札率・請負率」

落札率とは、予定価格に対する落札額の割合。落札業者が予定価格にどれだけ近い価格で入札したかを示す。100%に近いほど業者の利益が大きい。これに対して、請負率とは設計金額に対する落札額の割合。

「予定価格」

契約を締結する際にその契約金額を決定する基準として、あらかじめ作成しなければならぬ見込価格。

「設計金額」

資材費や人件費など工事に必要と見込まれる費用を積算した金額。予定価格の基礎となる。標準的な施工業者が、標準的な工法で工事を行うことを前提に算出される。



3日間に及んだ決算特別委員会